

こうふ町 議会だより

第210号

令和7年8月20日発行
江府町議会



- 議会新体制 2
- 6月定例会 4
- 臨時会 5
- 一般質問 6～7
- 議員紹介 8～9

子供の国保育園のみなさん

写真: 江府町地域おこし協力隊 今岡寛和

議会のことをわかりやすくお伝えします

議会新体制!

改選後、初議会が7月7日に召集され、正副議長選挙が行われ、議長には阿部朝親議員(3期)、副議長には川端登志一議員(3期)が当選しました。各常任委員会委員は議長の指名により選任され委員の互選により正副委員長を決定しました。



副議長
川端 登志一
広報公聴委員長



議長
阿部 朝親



三好 晋也
議会運営委員長



長岡 邦一
議会運営副委員長



加藤 邦樹
総務経済副委員長



芦立 喜男
教育民生委員長



森田 哲也
総務経済委員長
広報公聴副委員長



川端 裕
教育民生副委員長



前川 文洋

議会選出役職一覧

議席順 ◎委員長 ○副委員長

役職名	議員氏名
議長	阿部 朝親
副議長	川端登志一
総務経済常任委員会 町の総務・財務・産業・経済・土木・環境整備や、その他の委員会に属さない幅広い分野の調査・審査を行います。	◎森田 哲也 ○加藤 邦樹 三好 晋也 川端登志一 前川 文洋
教育民生常任委員会 学校教育・社会福祉・保健に関する事務の調査・審査を行います。	◎芦立 喜男 ○川端 裕 長岡 邦一 阿部 朝親 前川 文洋
広報公聴常任委員会 「議会だより」の編集・発行や議会ホームページに関することなど、議会の広報と住民意見の聴取を担います。	◎川端登志一 ○森田 哲也 芦立 喜男 川端 裕 前川 文洋
議会運営委員会 議会日程や会議進行の調整や確認など、議会運営全般をスムーズに進める役割を果たします。	◎三好 晋也 ○長岡 邦一 川端登志一 森田 哲也 芦立 喜男
西部広域行政管理組合議会議員	阿部朝親
後期高齢者医療広域連合議会議員	阿部朝親
日野町江府町日南町衛生施設組合議会議員	長岡邦一 芦立喜男 加藤邦樹
日野病院組合議会議員	阿部朝親 三好晋也
監査委員	森田哲也
奥大山農業公社理事	阿部朝親 芦立喜男
消防委員会委員	三好晋也 森田哲也 加藤邦樹 前川文洋
表彰審議会委員	長岡邦一 森田哲也 芦立喜男

※任期：議長・副議長は4年（江府町議会では慣例的に2年としている）
各常任委員会・議会運営委員会は2年

6月定例会

一般会計総額

52億7607万3千円

補正額 1億4607万3千円 増額

補正予算

一般会計 歳入・歳出の主な内容

商工費

ブランディング事業 (設備設置工事費)

129,404千円 増



移住定住促進事業費 (旧庁舎跡地造成工事費)

7,500千円 増



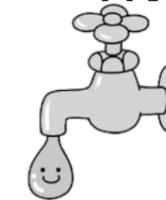
生活保護総務費 (システム改修委託料)

1,650千円 増



水道整備費 (簡易水道事業補助金)

1,229千円 増



農業振興費 (肥料価格高騰対策事業補助金)

400千円 増



ふるさと応援基金繰入金

70,581千円 増



特別会計

国民健康保険特別会計 (事業勘定) 補正予算 (第1号)

407千円 増

令和7年6月定例会は、6月2日に招集され、会期を4日間と定め開催しました。今回の定例会には、報告3件を始め、条例改正、一般会計補正予算及び、特別会計補正予算等、11議案が上程され、これらについて慎重に審議した結果、いずれも原案通り可決しました。2日の本会議では、2人の議員が質問に立ち、活発な議論が展開されました。

陳情の審査結果

提出のあった陳情は、6月議会で審査した結果、下記の通り決定しました。

件名	提出者	審査結果
一日も早く選択的夫婦別姓の導入を促すよう政府に求める陳情	新日本婦人の会鳥取県本部 会長 岡本裕子	趣旨採択 (全員一致)
地方財政の充実・強化を求める陳情	鳥取市南町505番地 自治労鳥取県本部 執行委員長 三浦敏樹 江府町江尾1717番地1 江府町職員労働組合 執行委員長 影山陽平	採択 (全員一致)

町道江尾貝田三ノ沢線法面修繕工事の締結

1. 契約の目的 町道江尾貝田三ノ沢線法面修繕工事(1工区)請負契約
2. 契約の方法 指名競争入札
3. 契約の金額 金 57,970,000円 (内 消費税及び地方消費税 5,270,000円)
4. 契約の相手方 鳥取県日野郡江府町大字江尾1748番地6
有限会社 浜本組 代表取締役 浜本 伸介

7月臨時会

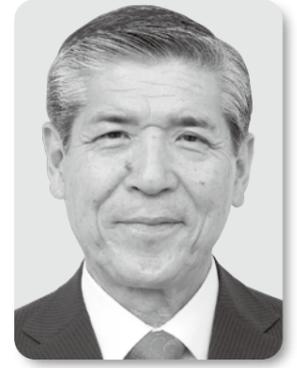
議長、副議長はじめ各委員会人事等決まる。

7月7日臨時議会が開催されました。今回は、先の町議会議員選挙から初めての議会で、議長、副議長をはじめ、各委員会の委員等が決定されました。町長からは3件の議案が上程され、審議の結果全ての議案とも可決され、また、議員発議で特別委員会も設置されました。議案等は以下のとおりです。

議案第60号	令和7年度鳥取県日野郡江府町一般会計補正予算(第4号)	内容 歳入歳出それぞれ、564万円を追加し、補正後の総額を52億8,171万円とする。主な補正は、介護老人保健施設「あやめ」のガス供給機器更新費用231万円、コミュニティーパーク建設に関する電柱の移転費210万円など。
議案第61号	江府町固定資産評価審査委員会委員の選任について	内容 任期満了に伴い、江府町袋原、新見道弘氏(68)の再任。
議案第62号	江府町監査委員の選任について	内容 任期満了に伴い、江府町貝田、森田哲也氏(69)の選任。
発議第4号	議会改革調査特別委員会について	委員長 川端登志一 副委員長 森田 哲也
発議第5号	公共施設建設調査特別委員会について	委員長 芦立 喜男 副委員長 川端 裕
発議第6号	企業誘致調査特別委員会について	委員長 森田 哲也 副委員長 加藤 邦樹
発議第7号	地方行政調査特別委員会について	委員長 川端登志一 副委員長 森田 哲也

町政を問う!! 2名の議員が一般質問

●町民の日常を守ることは行政の使命である! 日々の備えを問う!



川端 登志一

動画で一般質問

川端議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

質問 鳥取西部地震から25年、災害に遭遇した時の避難所や支援物資の備えは?

町長答弁 一時避難所として各公民館、集会所を指定しています。指定避難所は役場を含め旧小学校など6か所を挙げています。その他避難場所として集落の農村広場などを指定しています。支援物資は県の震災アクションプランとして西部地震を想定した連携備蓄を行い県基準では100%備蓄品を整備しています。

質問 町内では、コメ不足の状況はないと感じているので、災害避難用以外に備蓄する考えはありますか?

町長答弁 町内には色々な方がおられて、購買の方法も様々だと思います。従ってコメを備蓄する

質問 この度の急激なコメ不足や価格高騰も有事か災害と考え、高

町長答弁 町内には色々な方がおられて、購買の方法も様々だと思います。従ってコメを備蓄する

質問 町内の店舗に販売用のコメがないことを承知しているか? 結果町外の店舗に求めざる得ない状況であることとの認識は?

町長答弁 国もある程度こちらが理論武装していかないと相手にしてくれません。それなりの理屈をこしらえて向かっていく必要があるのではないかと思います。何とかブランド価値をつけるような工夫をして、高く売れるようなことも考えて町も後押しをしてゆきたいと考えています。

質問 農地の維持に重要な水利の確保は根幹

町長答弁 国もある程度こちらが理論武装していかないと相手にしてくれません。それなりの理屈をこしらえて向かっていく必要があるのではないかと思います。何とかブランド価値をつけるような工夫をして、高く売れるようなことも考えて町も後押しをしてゆきたいと考えています。



猛暑の中育つ稲

質問 町民にとって戦争や事変ばかりが有事ではない、行政が行う

町長答弁 町民の皆さんに説明するより早く報道が出てしまえば不満の声を聞いたことが何件もありました。案件によっては難しい場面もありますが出来るだけ丁寧にご説明させていただいてご理解を得よう努めたいと思います。

質問 町民にとって戦争や事変ばかりが有事ではない、行政が行う

町長答弁 町民の皆さんに説明するより早く報道が出てしまえば不満の声を聞いたことが何件もありました。案件によっては難しい場面もありますが出来るだけ丁寧にご説明させていただいてご理解を得よう努めたいと思います。

考えはありませんが、米の流通状況については実態調査してみないとわからないとは理解できません。

質問 今年のコメ不足を受け、全国的に増産が進むと考えられる。

町長答弁 町内農家や生産法人は平野部に比べ生産コスト面で不利である。県や国に対して一層の支援を要請すべきと考え

質問 今年のコメ不足を受け、全国的に増産が進むと考えられる。

町長答弁 町内農家や生産法人は平野部に比べ生産コスト面で不利である。県や国に対して一層の支援を要請すべきと考え

質問 今年のコメ不足を受け、全国的に増産が進むと考えられる。

町長答弁 町内農家や生産法人は平野部に比べ生産コスト面で不利である。県や国に対して一層の支援を要請すべきと考え

●公共施設の方針及び計画について

●奥大山スキー場及びエバーランド奥大山について



奥大山スキー場のリフト



加藤 邦樹

動画で一般質問

加藤議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

公共施設の方針及び計画について

質問 令和元年に「江府町公共施設のあり方について(報告)」という報告書が提出された。その方針より6年間で役場本庁舎、高齢者創作館が廃止撤去、役場本庁舎は住宅地として計画が進んでいる。残

町長答弁 令和4年3月4日全員協議会で公共施設に関する今後の管理方針を示した。災害が起こりそうな場合は町が対応を考える。山村開発センターに

町長答弁 令和4年3月4日全員協議会で公共施設に関する今後の管理方針を示した。災害が起こりそうな場合は町が対応を考える。山村開発センターに

町長答弁 令和4年3月4日全員協議会で公共施設に関する今後の管理方針を示した。災害が起こりそうな場合は町が対応を考える。山村開発センターに

町長答弁 令和4年3月4日全員協議会で公共施設に関する今後の管理方針を示した。災害が起こりそうな場合は町が対応を考える。山村開発センターに

質問 現在の公共施設への取り組み等を町民へ報告をすべきではないか。

町長答弁 町内には過去に整備した施設が多数あり、それが老朽化や増改築しているものもある。それを町民に報告するのは、江府町の状況を理解していただくという意味で大切である。

質問 今後、他の公共施設のあり方について、あり方委員会のような方法で方針及び計画を

町長答弁 このままリフトを放置すると自然環境や景観への影響はある。リフト撤去についての課題として、一つは財政面、次に公園計画の問題があり時期を計っている状態である。現在エバーランド奥大山では、奥大山自然

町長答弁 このままリフトを放置すると自然環境や景観への影響はある。リフト撤去についての課題として、一つは財政面、次に公園計画の問題があり時期を計っている状態である。現在エバーランド奥大山では、奥大山自然

町長答弁 このままリフトを放置すると自然環境や景観への影響はある。リフト撤去についての課題として、一つは財政面、次に公園計画の問題があり時期を計っている状態である。現在エバーランド奥大山では、奥大山自然

町長答弁 このままリフトを放置すると自然環境や景観への影響はある。リフト撤去についての課題として、一つは財政面、次に公園計画の問題があり時期を計っている状態である。現在エバーランド奥大山では、奥大山自然

奥大山スキー場及びエバーランド奥大山について

質問 スキー場が休止されてから6年が経過し、このままリフトを放置すると自然環境と景観に影響を及ぼす可能性がある。また再始動にはかなりの費用と期間が必要になることが予想される。スキー場の再開も含め今後の計画について伺う。

町長答弁 基本は議会に協議する。物によっては意見を伺う機会を作る。

町長答弁 平成28年スキー場を民営化すべきと表明、平成29年から令和元年までに4回指定管理を募集したが決定に至らず、令和元年から営業休止、令和3年に御机集落と議会に説明、リフト撤去すべきとの意見あり、今後スキー場を運営したい企業が現れても慎重に考えたい。

新議員のひとこと

長岡邦一議員(9期)



誠実に
勝る
知恵なし

江府町に住んでいることを誇りに思い、自然の恵みの中で生かされていることに感謝し、皆様と手をたずさえて「若者とともに暮らせる町」にするため誠心誠意努力します。

森田哲也議員(3期)



議会改革と
集落の維持

- 議会改革を提案・実施します。
目に見える形で改革し、議会をより身近なものに、と思っています。
- 集落維持策を提案・実施します。
国や県の政策に惑わされず、本町にあった政策を、と思っています。

加藤邦樹議員(2期)



対話
協議
実行

「持続可能なまちづくりのために」
対話 協議 実行

町の課題と向き合って「まちづくり」に貢献したいと思います。

川端 裕議員(1期)



積極的に
取り組み
ます

町民皆さんの声に耳を傾けすみやかに行動し活気ある町作りに取り組みます。

三好晋也議員(4期)



町づくりに
知恵を
出します。

- 永年、民間企業に勤めた知識経験を活かし、町づくりに知恵を出します。汗をかきます。
- 1. 若者定住による町の活性化
 - 1. 豊かな自然を生かした新たな観光事業の創造
 - 1. 教育と福祉の充実
 - 1. 議会改革の推進

芦立喜男議員(2期)



皆様の
「なんで？」
に答えます。

自転車で、片道23kmを、通勤しており脚には自信がありました。しかし、5年ぶりに倉庫からロードバイクを出し、乗ってみたものの宮市まで行けませんでした。今後、脚を鍛え皆様のところまでロードバイクで行き、町政から祝儀袋の話まで「なんで？」に答えます。

前川文洋議員(1期)



まずはわかりやすい議会に、その結果町の皆様の日常に安心と希望が増えますよう、尽力して参ります。よろしくお願ひします。

議長 副議長 就任あいさつ

阿部朝親議員(3期)



大地と共に
豊かな
まちづくり

「大地と共に豊かなまちづくり」をモットーに、農業振興を図り、農業の衰退に少しでもブレーキがかかり江府町の行く先に希望が持てる取り組み並びに高齢化率が上昇し、社会参加が出来にくくなってきた方々・在宅での介護されている方々などへの支援等現状に見合った取り組みなど行い、未来ある江府町となるよう町民の皆様と一体となり、安心・安全なまちづくりに努めます。

川端登志一議員(3期)



みなさまの
笑顔が
一番です

目標：「明るく楽しい健康長寿の町」

信条：「自利利他」
(みなさまの笑顔が一番です)

趣味：溪流釣り・燻製作り

ライフワーク：音楽活動を通して江府町の景色や生活を描くこと
取材→作詞→作曲→演奏→すべてを楽しむこと

議長 阿部朝親

この度、不肖私、町議会の改選による初議会におきまして、議員の皆様のご支援を賜り、議長という大役に就任することになりました。身に余る光栄でありその責任の重さを日々感じている所です。基より浅学非才の身ではありますが、一生懸命に取り組んでまいります。議員の皆様をはじめ、各位のご指導、ご協力を頂き公正公平な議会運営ができるよう努めるとともに、町民の皆様への信頼にこたえられる議会となるよう、誠心誠意尽くす所存です。農業が衰退すれば、江府町も衰退する事になると非常に懸念しており、農業の振興を図り、高齢化に伴う福祉の充実を図る事を優先に考え、執行機関と議会が一体となって本町の発展に寄与すべき職責を全うする覚悟であります。皆様のご支援を賜りますようお願いいたします。就任のあいさつといたします。

副議長 川端登志一

本年6月に行われました、町議会改選により初議会が開催され副議長の重責を拝命いたしました。今、江府町に於きましては、かつてないほどの事業が推進されつつありますが、それらを掌る役場内部も機構改革が行われ私たちの責務である住民の立場に立った監視が益々重要になってまいりました。新議長の下、議員全員がその使命を果たせるよう最善を尽くします。町民の皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



私のひとこと



江府町地域おこし協力隊
門田 表
(両親は江府町出身です)

農と自然の 現場から

江府町地域おこし協力隊の門田表（かどたひょう）です。

昨年度は奥大山の自然保護に携わるパークレンジャーとして活動し、今年度からは「農」の分野で、奥大山農業公社を拠点に地域の農業支援に取り組んでいます。

公社では、農業機械の整備や操作を中心に、梨の作業の補助や稲刈りなど、季節ごとの仕事を経験しています。最初は機械の名前すらわからない状態でしたが、先輩方に

教えていただきながら、少しずつ現場の知識と感覚を学んでいます。

この夏は全国的に米の価格が高騰し、農や食への関心が高まっています。お米や野菜が育つ背景を知ると、日々の食卓の風景も違って見えるように思います。

実際に現場で働いてみると、水の管理や気候の変化、そして何より人の手と知恵がどれほど大切かを日々実感しています。

また現在、K&S設計の光島さん、パークレンジャーの皆さんとともに、「奥大山インタープリテーション計画」にも取り組んでいます。町の自然や文化を未来につなげるための新しい試みで、私自身も大きな学びを得ています。



江府町の風景。地域の農にふれる日々を過ごしています。

その一方で、空き家の利活用にも関心があり、協力隊任期後は「泊まれる本屋」をつくりたいと思っています。町の農や自然にふれる場として、地域と来訪者がつながる拠点にしていけたらと考えています。

「こんな家あるよ」という情報があればぜひ教えてください。これからも江府町の自然や暮らしの中で学びながら、町の未来に寄り添う仕事を続けていきたいと思っています。



今年の議会選挙は少数激戦でありました。選挙中に皆様から頂いたお声の多くが選挙戦になってよかったですのご意見でした。8年ぶりの定員オーバーは候補者にとっても見守る町民の方にとっても悲喜交々の5日間でした。

それぞれの議員は町民の皆様から頂いた想いを胸に抱きこれからの4年間を過ごしてまいります。最初の仕事は初議会と、この「議会だより」です。新メンバーで議会改革と合わせ、紙面のほうも少しずつ新しくして参りたいと決意も新たにしているところであります。どうか忌憚のないご意見をいただきますよう、お願い申し上げます。210号のあとがきといたします。

川端 登志一

広報公聴常任委員会

委員長 川端登志一
副委員長 森田 哲也
委員 芦立 喜男

川端 裕
前川 文洋